



白バラ牛乳
大山乳業農業協同組合

酪農だより



あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」－酪農家の心を食卓へ－

今月の特集

産直特集

創立70周年 鳥取県生協が目指す
新たな産直の姿

現場潜入

大山乳業農協の信頼を繋ぐ
物流最前線

各種活動レポート

指導課通信

大山乳業農協からのお知らせ





産直特集 創立70周年 鳥取県生協が目指す新たな産直の姿

鳥取県生協 産直提携50周年

生協には「生協産直」という取り組みがあります。

産直は「産地直結」という言葉の略です。全国の生協で考え方はそれぞれですが、「生協三原則」に基づき、生産者と生協組合員の信頼によって安心安全な食品と持続可能な生産を目指しています。

大山乳業農協のある地元鳥取県にも、今年創立70周年を迎えた鳥取県生活協同組合（以下、鳥取県生協）があります。

大山乳業農協とは前身の鳥取県東部勤労者生活協同組合の頃から牛乳の供給を通して関わりの深い生協で、現在も「産直コープ牛乳」をはじめ大山乳業農協の製品も供給されています。

そして今年、鳥取県生協と大山乳業農協は産直提携50周年を迎えました。

今回の特集は、鳥取県生協の「産直の今」と「これから目指す新たな産直の姿」を今年6月の総代会より理事長に就任された井上理事長にお話を伺いました。

鳥取県生協の紹介

鳥取県生協は、宅配事業を中心に鳥取市に本部を置く生活協同組合で、今年創立70周年を迎えられました。

1 商品センターと4つの支所を拠点に鳥取県内6万世帯の組合員の皆さんへ職員270人が商品の供給とサービスの提供を行っています。

6 月開催の第70回通常総代会において「2030年ビジョン」を承認。2018年に確認された「コープSDGs 行動宣言」とあわせて持続可能な社会・地域づくりを目指して様々な取り組みをされています。

大山乳業農協の商品では鳥取県生協を代表する産直商品として「産直コープ牛乳」が多くの生協組合員の皆さんに親しまれています。

事業所

● 東部支所
● 本部・商品センター
● 東部河原支所

● 中部支所

● 西部支所

創立70周年を期に、新シンボルマークが誕生しました。未来への希望・人の思いをつなぐ・未来をデザインする・アイデアを掛け合わせるの4つの意味を含め、それらがスパイラル上に増幅していくイメージを表現しています。



新たなシンボルマーク



鳥取県生協 井上理事長



生産者との交流会「産直三懇談会」



鳥取県生協 本部(鳥取市)

新たな産直の姿を 目指して

産直提携50周年について「今まで以上に産直活動を盛り上げていくにはどうすべきか、様々な角度から考えていきたい」と井上理事長。

現在掲げている鳥取県生協の産直三原則に「想い」「生産者の暮らし」といった部分を加え、生産者と生協組合員が手を取り合って繋がっていく産直を目指したいと語られました。

本来ならより活発な活動を行いたいところですが、現在新型コロナウイルス感染症の影響を受け産直の取り組みが中止を余儀なくされています。しかし、井上理事長は「今、この時代だからこそできる交流を」と

SNSやリモートでの交流を模索しておられます。そこには「互いを知り、苦労や喜びを共に感じ、鳥取県の酪農の力になりたい。」という井上理事長の想いがありました。

そして、「今、産直活動に参加している生協組合員さんのお子さんが、産直を学び、鳥取の酪農を知り、将来酪農に携わりたいと思ってくれたら、本当の産直が出来上がったと思える瞬間です。」と将来の鳥取県生協と大山乳業農協が共に歩む姿を思い浮かべておられました。

鳥取県生協が目指す新たな産直の姿には、大山乳業農協からの積極的な情報発信も必要不可欠です。

大山乳業農協として生産者のリアルな声を届け、互いの懸け橋になればと改めて感じました。

互いを想う 心の通う産直

井上理事長は、生協組合員から大山乳業農協の生産者へ寄せられるメッセージには、「おいしい」「安全」「自慢」など様々な表現の中、どれも共通した想いがあると感じるそうです。そうした想いに応えるためにも生協組合員はもちろんですが、鳥取県民が持つ「大山乳業農協のイメージ」を大切にしながら、新しい白バラブランドづくりにチャレンジしてほしいと応援の言葉を頂きました。

また、白バラ認証制度の策定委員会に消費者側として参加された、鳥取県生協向由美子前副理事長は鳥取県生協機関誌の中で「消費者に安心安全を！酪農家に生産意欲と誇りを！と大山乳業さんの真摯な取り組み姿勢に頭が下がります。私たちがあたりまえに飲んでる産直コープ牛乳が特別であることに感謝します」と言葉を寄せておられます。

私達の「想い」が確かに生協組合員の皆さんに伝わっていることを感じました。

想いを贈り、想いが返ってくる。心の通う産直がこれから先も永く続くことを願います。

鳥取県生協の産直

産直(さんちよく)とは「産地直結」を略した呼び方で、産直三原則に沿って生産管理や交流で産地への理解を深める活動です。

大山乳業農協との産直提携は50周年を迎え、「産直コープ牛乳」「産直コープ低脂肪牛乳」は産直商品として生協組合員の皆さんへ届けられています。

鳥取県生協の産直三原則

- 1 生産者と産地、栽培・肥育方法(農業・肥料・飼料等)が明確であること
- 2 組合員と生産者が交流できること
- 3 適正な取引価格を追求し、事業の継続発展が進められること

2002年に「大山乳業農協の牛乳が生協組合員にさらに身近な存在になってほしい」と商品名・パッケージデザインを一新した「産直コープ牛乳」。以前は「せいきょう牛乳」として親しまれていました。

昨年は、年間約74万5千本が利用され、鳥取県生協を代表する人気商品となりました。



「たべる*たいせつキッズクラブ」工場見学の様子

白バラ牛乳



大山乳業農協の信頼を繋ぐ 物流最前線 《物流課の現場》

大山乳業農協の物流を
一手に担う流通の要



物流の普及と進化に伴い、今や消費者が「欲しいものを欲しい時に購入する」ことは難しいことではなくなり、ますます。大山乳業農協の製品も関東まで流通エリアを伸ばし、多くのお客様に親しまれています。

大山乳業農協には様々な地域のお客様が気軽に白バラ製品を購入出来るよう、見えないところでの確に製品を納品し、取引先や消費者との「信頼」を繋ぐ部署があります。

その部署は「物流課」。物流課に当たり前のよう求められるのは「決められた製品を決められた数量で決められた場所・時間に納品する」ということ。

時に製造トラブルが発生すれば、トラック出発時間ギリギリまで対応し、自然災害で道路が寸断されれば幹線便の運転手へ運行ルートの変更を指示しなければいけません。

常に状況を判断し、それを何年も何十年も大きなトラブルなく行うことは決して容易なことではありません。

今回は、大山乳業農協の「信頼」を繋ぐ流通の要「物流課」の現場に潜入します。

総勢52人が繋ぐ 24時間体制の物流



物流課は大山乳業農協の物流を一手に担っている部署で大きく「受発注部門」「出荷管理部門」「入庫仕分け部門」「配送部門」「直売所部門」の5つに担当分けされています。

各取引先からの発注や請求、各課へ製造依頼を行う「受発注部門」12名、製造部が製造した製品の管理・検品やギフトの発送を行う「出荷管理部門」8名、製品の検品や冷蔵庫内の管理・出荷に関わる「入庫仕分け部門」22名、取引先へ組合のトラックで配送を行う「配送部門」3名、そして構内の直売所のスタッフとして「直売所部門」3名と幅広い業務を計52名の職員で行っています。

以前は、受渡課が仕分け・出荷部門



1 2



3 4



1. 受発注では、発注内容もチェックしていきます
2. 出来上がった製品は次々と冷蔵庫へ移動します
3. 仕分けされた製品をトラックへ積み込みます
4. みなさんおなじみの配送トラックです
5. 直売所スタッフの皆さん
6. 受発注システム(白バラネット)紹介チラシ



5 6



を担い、販売一課が受発注部門を担っていました。平成9年2月にそれぞれの部門を統合し、物流業務を一括管理で行う「物流課」に名称変更されました。

物流課の仕事は、受注後、各部門が出荷までをリレーのように繋いでいきます。そのため、各部門の何処かでミスがあれば、お客様へ正確な数量を届けることができないとても重要な部署です。

物流課のスタッフは総勢52名の大所帯ですが、24時間体制で製品を出荷する為、他の部署と異なり出勤時間が1人1人細かく分けられています。

出勤時間は深夜1時出勤のスタッフから22時出勤のスタッフまで様々で、昼夜を問わず物流課のスタッフは担当する業務のバトンを繋ぎ毎日無事に製品が出荷されています。

変化する物流課の今



現在、物流課では業務効率を上げるため、白バラネットの運用や受発注システムの見直しが進んでいます。

白バラネットとは、宅配販売店からの商品発注をインターネットを通じて行う仕組みで、今年2月より受注を開始しました。また、伝票などのレイアウトや文字ポイント、学校給食・生協からの受注の際の転記作業を削減するなど、受発注システムの大幅なシステム変更を行いました。

今後は、AI技術などを使い入庫業務の見直しにも取り組み、仕分け作業の効率化も図っていければ嬉しい、と物流構想に期待を寄せています。

一方で、輸送費は、物流を行う上で切り離すことのない課題ではあ

りませんが、関東へのミルクロード構築に向けて組合全体で取り組む課題だと感じました。

物流課の中原課長(集合写真後列左端)は「物流課は製造部や品質管理部、総務部といった幅広い部署とも連携して業務を行います。また、取引先に対しても1本、1パック単位から注文を受け出荷します。深夜に出勤する職員や、出荷時間に常に追われる職員の姿は、日頃お客様からは見えない業務ですが、物流課職員全員が日々頑張っています。今後とも協力お願いします。」との言葉を頂きました。

物流課の日常には、1日たりとも同じ日がありませんが、どんな状況でも最善を尽くし製品を出荷します。

そして今日も大山乳業農協の製品と「信頼」を乗せたトラックが物流課を出発します。



牛乳配布のようす(京都営業所 前田職員)



組合員の皆さんとの交流のようす(京都営業所 谷口係長)

営業所レポート

京都生協「初夏の鳥取フェア」にて せいきょう牛乳を無償配布

6月13日(土)・14日(日)の2日間、京都生協店舗にて初夏の鳥取フェアが開催されました。

今回伺ったのは昨年11月にオープンし、鳥取フェア初開催のコープ山科新十条店です。

今回は新型コロナウイルス感染拡大防止により試飲試食は中止となりましたが、先着300名にせいきょう牛乳200mlの無償配布や鳥取フェア開催・せいきょう牛乳誕生50周年、白バラ認証制度の取り組みなどを紹介し、山科エリアの生協組合員さんに、せいきょう牛乳のおいしさを知っていただけるようPRしました。

牛乳を受け取った組合員さんからは、「是非試してみる」といったお声や、「がんばってね」といった励ましのお声をいただくことができました。

次回の秋の鳥取フェアは9月に予定されています。

2020年は産直交流も30周年の節目を迎えています。新型コロナウイルスが終息し、秋の鳥取フェアが盛大に開催できることを願っています。



川上会長(写真右)へ牛乳・ヨーグルトなどが寄贈されました



寄贈された製品は給食として利用者の皆さんへ提供されました

牛乳普及協会レポート

琴浦町社会福祉協議会へ 白バラ牛乳・のむヨーグルトを寄贈

6月20日(土)、大山乳業農協が事務局を務める鳥取県牛乳普及協会より琴浦町社会福祉協議会へ白バラ牛乳1000mlを96本、のむヨーグルト180mlと白バラ生乳ヨーグルト70gを各220個ずつ寄贈しました。

今回の寄贈は、農林水産省・独立行政法人畜産業振興機構の支援を受けた一般社団法人Jミルクの取り組みの一環で、新型コロナウイルス感染拡大を受け、生乳の行き先がなくなることを防ぐため、全国の酪農乳業関係団体と一緒に行ったものです。

琴浦町社会福祉協議会では、川上強志会長へ寄贈の製品が手渡され、サービスを利用する高齢者の皆さんや障害者の皆さんの昼食に提供されました。

鳥取県牛乳普及協会は今回の取り組みの県内窓口となっており、この他にも医療機関や福祉施設、こども食堂など約210カ所に大山乳業農協の乳製品を寄贈しました。

第15回 マスクと熱中症

私達が工場に入る際、欠かせないものの1つにマスクがあります。コロナ渦の今、飛沫が拡散するのを抑え他人へのウイルス感染を防止するのに有効ということで、日常生活にも欠かせないものとなっています。

厚生労働省も、新しい生活様式の中でマスクの着用を薦めていますが、熱中症にも注意が必要です。

気象庁によると、今年の夏も暑くなると予想されています。マスクを着用することで、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度の上昇など、体への負担がかかります。また、口の中が加湿され喉の渇きを感じにくくなり、気づかないうちに熱中症になってしまうということも。

マスク着用にあたっては、屋外で他人との距離が十分（2m以上）あればマスクをはずす。強い負荷の作業や運動は避け喉が渇いていなくてもこまめに、少しずつ水分を摂る。マスクをはずして休憩をする。エアコンの使用中でもこまめに換気する等、熱中症に罹らないよう、1人ひとりが気を付けることが必要です。

関東での感染者拡大や第2波の懸念などが心配されるコロナ渦の今、熱中症になると医療機関にも少なからず負担をかけることとなります。

自分や周りの人、そして日本の医療を守るためにも、コロナにも熱中症にも気をつけましょう。



営業所だより 岡山営業所



皆さんこんにちは！
岡山営業所は岡山市南部の岡山港付近にある(株)ムロオ岡山営業所の社屋内(岡山市南区海岸通)に営業所を構え日々の業務を行っています。
昭和56年1月に倉敷出張所の開設から始まり来年間開設40年を迎えます。
職員は男性4名、女性2名の計6名で、岡山・倉敷・新見・福山(広島県)・四国と幅広いエリアを担当しています。
今後も、白バラブランドイメージを高め、売上目標達成に努めていきたいと思っておりますので、ご支援・ご協力よろしくお願いたします。



岡山営業所職員の近況報告(前列右側より)

溝内係長
福山エリアの宅配販売店を担当しています。外出自粛で自炊をする事が多くなりました。最近では少しさぼりぎみですがスクワットで体力の維持を心がけています。

生田係長
香川・倉敷エリアの宅配販売店・コープが自薦ですが、早くコロナが収束し気軽に旅行にいける状況になってほしいです。

谷口職員
量販ベンダーコンビニ販売店の担当です。早いもので岡山営業所に来て18年になり、人生のほぼ半分を岡山で過ごしています。岡山の事で分からないことがあれば何でも聞いてください！

梶原職員
元気が取り柄の経理担当です。仕事はインドアですが、プライベートは超アウトドア！今回のコロナ自粛でもZOOMなどインターネットを駆使し、今まで以上に活動の幅を広げています。

松江所長
赴任し6年目になります。岡山は街もあり田舎もあり気候も温暖で大変住み心地の良い地域です。地元鳥取県へも2、3時間で帰省ができますので県外勤務希望の方にはおススメです。

宮下職員
受発注を担当しています。誕生日に甥っ子からプレゼントしてもらったピカチュウのボールペンがもったいなくて使えない今日この頃です。

私のオススメ

製品開発センターでアイスの担当をしております鈴木です。私のオススメは白バラアイスバーニアです。

シンプルな味わいでミルク・バニラの香りが感じられ、そのままでも、もちろん美味しいですがアレンジしやすい点もお気に入りです。

私はお酒も好きで、アイスを晩酌のおつまみにすることが好きです。日本酒やストレートのウイスキーには素朴な味わいのアイスが合うのでお酒好きは是非お試しください。(お酒が苦手な方は、アイスに少し垂らし混ぜていただくとお酒の香りが出ておいしいですよ！)

皆さんも、好きな飲み物・お菓子やフルーツ等と合わせてオリジナルアイスを楽しんでみてください！



白バラアイス、オススメです



しっかり防疫を行い 清潔な牛舎に

「人間は隔離までだが鶏や牛や豚には殺処分が待つ」

これは緊急事態宣言中の5月3日に朝日歌壇に載った入選作の1つです。新型コロナウイルス(COVID-19)の流行でソーシャルディスタンスの確保、マスク着用や手指の消毒等が求められるようになりましたが、畜産動物で重大な感染症が発生すれば、待っているのは殺処分です。

2018年9月8日、岐阜県下の養豚場で豚熱(CSF、豚コレラ)が確認されました。かつて、豚熱は全国的にまん延していましたが、飼養衛生管理の向上及び開発された生ワクチンの普及により、1992年を最後に国内での発生は確認されなくなり、2006年4月からはワクチン使用を完全に中止しました。この結果、2007年4月1日に国際獣疫事務局(OIE)の規約に定める豚熱清浄国を宣言し、2015年には清浄国の認定を受けました。ところが26年振りに豚熱が発生し、その後は岐阜県、愛知県、三重

県、福井県、埼玉県、長野県、山梨県及び沖縄県と全国的に拡大。既に15万頭以上の殺処分が行われました。一方、海外ではアフリカ豚熱(ASF、アフリカ豚コレラ)が猛威を振るっており、今年1月初旬時点での累計発生報告によると、中国だけでも殺処分数は120万頭近くにまで上っています。アフリカ豚熱は豚熱と違い、ワクチンもなく、対策が非常に難しく、アフリカ豚熱がひとたび日本で蔓延したら、日本の養豚業は今以上の大ダメージを受けることは間違いありません。家畜伝染病予防法第一六条には

次に掲げる家畜の所有者は、家畜防疫員の指示に従い、直ちに当該家畜を殺さなければならぬ。ただし、農林水産省令で定める場合には、この限りでない。

- 一、牛疫、牛肺疫、口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、高病原性鳥インフルエンザ又は低病原性鳥インフルエンザの患者
- 二、牛疫、口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、高病原性鳥インフルエンザ又は低病原性鳥インフルエンザの疑似患者

と示されています。

2010年に宮崎で口蹄疫が発生した際は、29万2808頭の大切な牛の命が殺処分によって失われました。

このような感染症を持ち込まない為に、牧場に入りにする人は、慎重に対応しなければいけません。車両消毒や防護服着用を徹底し、他牧場から病原体を持ち込むのを防ぐ必要があります。また、海外へ行った場合、一定期間は牧場に入らない、靴や衣服に病原体が付着している可能性があるため、使用した衣服を持ち込まないことも重要です。牧場主は防疫を徹底する必要があります。消毒槽の設置や、牛を導入した際、数週間は隔離し、健康観



出入口に設置された消毒槽

察を行いましょう。

防疫を徹底することは大切な家畜を守ることに繋がります。「少し面倒だからいいや」と軽く考えず、しっかりと防疫を行い、全員で牧場を清浄な状態に保つよう心がけましょう。

新しい検査項目について その①BHB

4月から検査結果の表示が変わり、乳汁から分かることが増えていきます。今月から3回連続で、新しく加わった検査項目の活用方法についてみなさんにお知らせしたいと思いますので、どうぞよろしく願います。

今月は、「BHB」について。BHBはケトン体の一種で、乳汁中0.1mmol/L以上で「潜在性」ケトシスと判定できます。ケトシスの症状と言えば、「エサを食べない」「乳量が大きく減少する」が代表的ですね。これは「臨床性」のケトシスの症状で、ケトン体がたくさんたまってしまった状態です。症状はほとんど出ていないけれどケトン体が少し増え始めた(つまり「潜在性」のケトシス!)くらいのタイミングで気づくことができる

と、次のようなメリットがあると言われています。

- ・分娩後、乳量が速やかに増加／ピーク乳量の増加
- ・臨床性ケトosis・第四胃変位・子宮炎などの周産期疾病の減少
- ・初回発情や受胎が早まる

タイストールの牛舎であれば、分娩後にエサ食いが悪い牛の存在に気づきやすいですが、フリーストールなどで放し飼いをしていると、ちょっとした変化に気づきにくく、気が付いたら牛はがりがり、乳量激減…回復に長い時間がかかったり、第四胃変位になっしてしまい手術が必要になったりすることもあります。

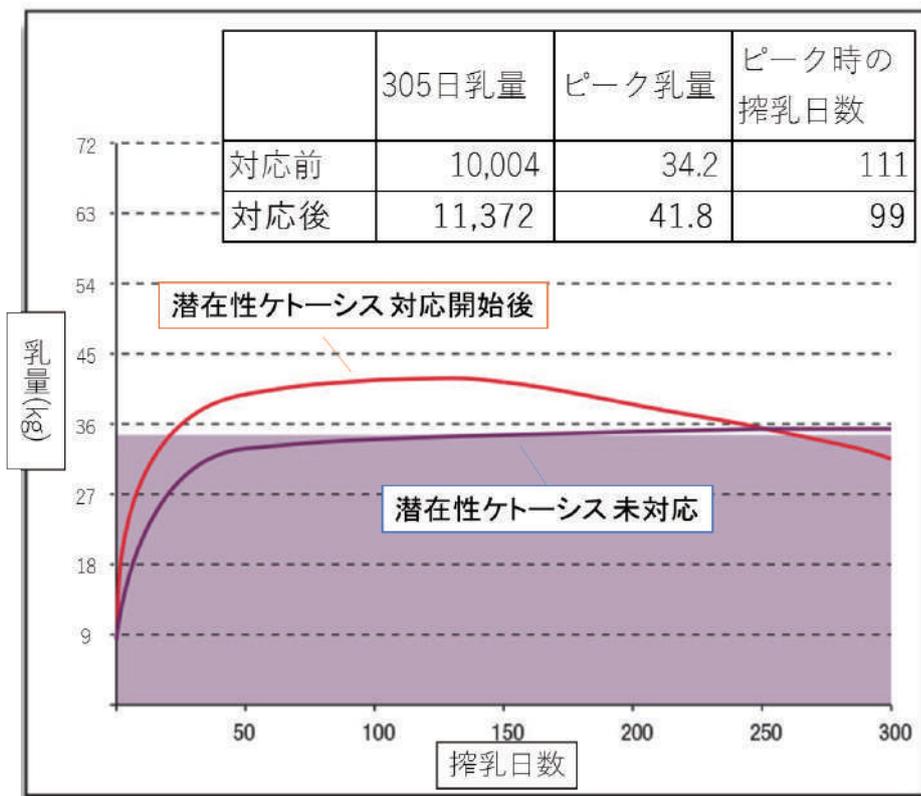
初乳検査時に、体細胞成分も一緒に依頼していただくと、BHBも測定されます。この時期にBHBが高くなければ、分娩後にエサをよく食べられていたことが確認できます。依頼検査を出しても表示されないことがあります。ですが、その場合は検出できないくらい低いときですので問題ありません。

電話でのお問い合わせの際は、「BHBも教えて」と一言付け加えていただくと助かります。

潜在性ケトosisの牛が摘発できたら、プロピレングリコール製剤の給

与が有効です（指導課では「ネオールノゲン」を処方しています）。1日1回、3〜5日間連続で給与し、再度乳汁を検査に出してBHBが0.1mmol/L未満に下がったことを確認してください。プロピレングリコールは長く飲ませ続けるのも良くないので、

BHBが低下しない場合はかかりつけの獣医さんにご相談ください。国内のデータではありませんが、こうした取り組みをして潜在性のケトosisを見つけて対応することで、乳量が伸びたという報告もあります（左図）。ぜひ、ご活用ください！



(図) 潜在性ケトosisに対応した農場での初産牛の乳量変化

(引用元：Progressive Dairy, 2016.5.24)

**牛乳・乳製品利用
料理コンクール開催**



鳥取県牛乳普及協会では、牛乳・乳製品を使用したオリジナルの料理・菓子・デザートを募集しています。

応募は、調理師等料理を職としている方を除く高校生以上の一般消費者の方であれば誰でも参加できます。

誰でも短時間で簡単にできるオリジナルレシピアイデアのご応募をお待ちしています！

応募方法・募集内容のお問合せ先

鳥取県牛乳普及協会「牛乳・乳製品利用料理コンクール」係(大山乳業内)
TEL(0858)5212212

※応募用紙は、大山乳業 総務課にもご用意しております

応募締切 2020年8月31日(月)
※当日消印有効



輸入粗飼料の情勢

品目	今後の改定要因			特記事項
	品代	為替	フレート	
フレート			→	徐々に再開する世界的な経済活動を背景にコンテナ貨物の流通は回復傾向にある。しかし全世界の貨物流通量は、COVID-19発生前と比較し2割ほど低い水準で、いまだに航路によっては減便が行われている。米国西海岸P N Wのシアトル・タコマ港や内陸の保税貯蔵置き場であるソルトレイクシティでは空コンテナの不足は続いている、ロサンゼルス・ロングビーチ港では比較的、空コンテナを確保できるようになっている。
ビートパルプ	→	→	→	作付面積は昨年比でわずかに増加しており、生産量は例年並みもしくは若干の増加が予想されている。一部の地域で降雨があったが、多くの地域で好天に恵まれており順調に生育している。
スーダングラス	↑	→	→	20年産は収穫開始が2-3週間遅れたことで、茎のサイズが安定した上級品の発生は例年よりも少なく、また茶葉の混入したスーダンの発生が例年よりも多くみられている。価格については直近のチモシー高騰を受け、スーダンへの引き合いが増加しており産地では上級品を中心に価格がやや上昇している。
アルファルファヘイ	↑	→	→	コロンビアベースンでは南部を中心に1番刈は、多くの雨当たり品が発生した。雨当たりを避けられたものは、日中にベーリングされたものが多く、例年以上にドライ気味の品質が多く、葉付きの良い上級品の発生は限定的である。また例年に比べ茎がやや細い傾向にある。現在2番刈の収穫が始まっており、好天が続いているため、2番刈は良品の発生が見込まれている。上級品は昨年と同様に比べ若干強含みで取引されている。
USチモシー	↑	→	→	コロンビアベースンでは、南部を中心に収穫期に断続的な降雨があったため、多くが中級品から低級品となっている。品質については上級品であっても19年産に比べると、20年産は茎質や茶葉の混入割合などやや劣る傾向にある。エレンズバーグでは6月中旬から収穫作業が開始しており、現在収穫は終盤を迎えている。6月下旬から天候が落ち着いたことで、上級品がいくつか発生しているが、20年産として上級品の発生量が限られていることから、上級品の価格は19年産に比べ大幅に上昇している。
カナダチモシー	→	→	→	20年産の作付面積については、19年産とほぼ同水準になる。産地では生育期において冷涼な気候が続いたため、アルバータ州南部レスブリッジでは例年より1週間遅い7月上旬から1番刈の収穫が開始している。同州中部のクレモナもやや冷涼な天候によりスローな生育が続いている。
オーツヘイ	→	→	→	土壌水分は良好で温暖な気候も手伝い生育は順調である。豪州統計局発表の輸出統計によると今年1月から5月までに各国に輸出された豪州産オーツヘイ及びウィートヘイは前年比121%と大幅に増加している。特に中国向けは前年対比で倍近い数量が輸出されている。引き続き強い需要があり各輸出業者の製造スケジュールは逼迫している。こういった各国からの強い引き合いを背景に産地相場は堅調である。
クレイングラス	→	→	→	産地では2番刈の収穫が後半戦を迎え、1番刈と異なり雑草の混入は少なく、輸出に適した品質が生産されています。相場については他の草種が上昇している中、比較的落ち着いている。他方で産地では生産者にとって魅力的な価格でなくなっているため3番刈を最後に他の作物へ転作する動きも出ている。
ストロー類	→	→	→	産地では種子の収穫が例年よりも1週間ほど遅れて開始している。このまま好天が続けば7月中旬頃からフェスキュー、アニュアル種ライグラスストロー、ペレニアル種ライグラスストローの順にストローのベーリングが開始される。



大山乳業農業協同組合 からののお知らせ

D a i n y u I n f o r m a t i o n

理事会だより

令和2年6月20日理事会にて次の議案が決議されました

6月20日提出議案

- 第1号議案 四半期監事監査指摘に対する回答について
- 第2号議案 常例検査指摘事項の改善状況報告について
- 第3号議案 5月末経営検討について
- 第4号議案 各種規程の一部変更について
- 第5号議案 夏季一時金について

異動辞令等

下記の通り異動辞令が発令されました

異動辞令(令和2年7月1日付)

(所属及び役職) (氏名) (旧所属及び役職)
 販売部
 物流課 職員 霜村 織衣 営業課 職員

異動辞令(令和2年7月21日付)

(所属及び役職) (氏名) (旧所属及び役職)
 販売部
 広島営業所 職員 磯田 雅充 営業課 職員
 総合企画室 職員 山崎 瑞季 製造管理課 職員

宅配便送料定額サービスの実施について

ふるさと産品巣ごもり応援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により外出自粛が求められるなか、買い物回数を減らし、自宅で過ごす方も多くなっています。

大山乳業では「ふるさと産品巣ごもり応援事業」として、直売所で宅配便をご利用のお客様へ送料を一律500円(税別)とするサービスを開始しました。

県内外の親戚・友人・知人へ白バラ製品をお送りいただく際は、全国どこでも一律500円(税別)で発送いたします!

この機会に、組合直売所をぜひご利用ください!



対象期間

2020年6月15日(月)～2020年12月9日(水)

対象店舗

カウイーのみらく館・大山まきばみるくの里

※直売所から発送する宅配便1個口あたり一律税別500円で発送いたします。詳しくは店舗スタッフまで。

ホームページ からの声



■ 遠く離れていても、いつも白バラ牛乳が大好きです。これからも毎日美味しくいただきます! 変わらない美味しさをよろしくお願いします。
 (愛知県)

■ 鳥取市出身なので、給食でお世話になりました。首都圏に出てきて、周困になかったのですが、成城石井に置いてあるので、見かけると買ってしまう。
 (千葉県)

■ 給食で慣れ親しんだ白バラ牛乳を飲むと、気持ちほっこりするので、大好きです。大山乳業が大好きです。これからも美味しい製品を作ってください。
 (鳥取県)

■ 「白バラヨーグルト生乳100」を食べ、こんなにおいしいヨーグルトがあったのか! と感激しました。今までのヨーグルトのイメージが変わりました。
 (広島県)

■ 白バラ牛乳月間特設ページで、工場見学体験動画を見ました! コロナの影響で実際には見学に行けないけれども、雰囲気を楽しめて良かったです。
 (大阪府)

■ いつも大変おいしく食べています! 家族みんな白バラファンです。今はコロナの影響で工場見学もいけません、また行ける日を楽しみにしています。
 (鳥取県)

■ 今はコロナでいろいろ大変かとは思いますが、お体に気を付けて頑張ってください。これからも美味しい乳製品楽しみにしています!
 (岐阜県)

野球部活動報告

第53回中国五県軟式野球大会 中部地区予選会出場



試合のようす(写真左が大山乳業野球部)

6月7日、28日に倉吉市宮球場で第53回中国五県軟式野球大会(二部)中部地区予選会が行われました。

今年は、新型コロナウイルスの影響で例年よりシーズン開始が遅く、今回がシーズン初試合でした。

リーグ戦総当たりで1位のみが県大会出場となる中、初戦は善戦空しく5対2で敗戦。県大会へ望みを託した次の試合は、初回到先制点を挙げるも逆転され、迎えた6回に同点へ持ち込みましたが、続く得点を奪えずシーズン初勝利とはなりませんでした。

次の試合では、シーズン初勝利を目指します。

白バラ牛乳月間

フォトコンテストの受賞作品が決まりました!



6月の牛乳月間に合わせ大山乳業農協ではインスタグラムを使ったフォトコンテストを開催しました。

当初の予想を上回る353点の応募の中からグランプリ1点と、準グランプリ3点が選ばれました。

工夫を凝らしたユニークな作品や皆さんの個性が表現された作品が多く見受けられました。

大山乳業農協では、今後もお客様参加型の企画により白バラ製品に親しんで頂く取り組みを行います。

カウイーの
とつとリップ

今月は三徳山
三佛寺投入堂
にお出かけ



投入堂は標高900mにある三徳山三佛寺の奥院。垂直に切り立った絶壁の窪みにあり、国宝に指定されているんだよ! 修験道の開祖、役小角が法力で建物ごと平地から投げ入れたという伝承もあるんだって!

酪農だよりに関するご意見ご感想はメールアドレス
[email@dainyu.or.jp]まで
QRコードからもメールアドレスを取得できます▶



あの日・あの時

大山乳業「酪農だより」バックナンバーから当時の様子を
覗いてみます



今回紹介するのは、昭和50年7月17日発行の「酪農だより第162号」です。東京を会場に、鳥取県から代表3名が参加した飲用乳価値上要請活動のようすです。乳価は当時大きな政治的・社会問題となりました。

編集後記

何十年に一度の豪雨災害が各地で発生し、大きな被害となっています。

毎年、何かが起こりうるこの状況に1人ひとりの防災意識を高め行動をしていくことが大事になります。

酪農だより vol.702

発行責任者/小前孝夫 編集責任者/平野 浩
印刷所/山本印刷株式会社 発行日/令和2年7月20日

White Rose 大山乳業農業協同組合

〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保37-1
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501
https://dainyu.or.jp E-mail:email@dainyu.or.jp